

石川県海洋漁業科学館中期経営目標取組状況(令和元年度)

中期経営目標(実施期間 H30～R4)

- ① 入館者を5年間で7%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。
- ③ 利用者1人あたりの一般財源投入額を5年間で7%削減します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値	実績値(R1)	中間目標値(R2)	最終目標値(R4)
① 入館者数	6,123人	8,055人	6,430人	6,550人
② 利用者アンケートによる満足度	95%	92%	95%以上	95%以上
③ 利用者1人あたりの一般財源投入額	502円	399円	476円	467円

2 令和元年度における主な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

- ①館内施設の有効利用の強化
・「海と日本プロジェクト」のイベント2件(参加人数延べ91名)を実施し、利用促進および宣伝を図りました。また、地元小中学・高校延べ10校の総合学習授業等を当館で実施しました(延べ参加人数295名)。
- ②地域イベントとの連携
・「金沢海みらい図書館」、「能登小木港イカす会」など地域イベントに併設する形で、出張工作教室や展示などを実施しました(延べ4イベント、参加人数590名)。
- ③水産総合センターとの連携強化
・「ところてん作り教室」「ヤマメ卵を育ててみよう」などの企画展を連携して実施しました。(延べ参加人数111名)
- ④展示内容の充実
・3D海底地形図および寒ブリ水槽の新設に加えて、リュウグウノツカイ展、寒ブリ展など、時事や地元イベント(のと寒ぶりまつり)に併せた特別企画展を実施しました。
以上の取組みの結果、本館の認知度が向上し一般入館者数も増加したことから、前年比18%増を達成できました。

(2)施設運営の効率化に向けた取組

節電・節水等の経費節減に努めたことから、暖冬の影響もありましたが、光熱費を大きく減少させることができました。その結果、利用者1人あたりの一般財源投入額は基準値を下回ることとなりました。

(3)その他の取組 (1)、(2)以外の取組があれば記載

なし

3 令和2年度における取組内容の見直し等

当館の施設は閉鎖的な設計となっていること、また体験型(接触型)の展示や企画(工作教室など)が多いことからコロナ禍による来館者の大幅減少は避けられない状況にあることから、館外の僅かのスペースを活用した企画により一定の来館者を確保したいと考えています。

1 施設の利用状況

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

指標	H27	H28	H29	H30	R1	備考(増減理由等)
入館者数(人)	6,178	6,259	6,523	6,826	8,055	

(2)使用許可等の状況

指標	H27	H28	H29	H30	R1	備考(増減理由等)
なし						

(3)使用料の収入実績

指標	H27	H28	H29	H30	R1	備考(増減理由等)
入館料(千円)	無料	無料	無料	無料	無料	

2 収支の状況

(単位：千円)

		H27	H28	H29	H30	R1
歳出	職員費	3,657	3,627	4,136	4,195	4,232
	施設管理費	3,017	3,039	3,114	3,427	3,047
	工作教室開催費	39	30	58	130	168
	計	6,713	6,696	7,308	7,752	7,447
歳入	入館料	0	0	0	0	0
	国庫補助金	0	0	0	0	0
	一般財源	6,713	6,696	7,308	7,752	7,447
	計	6,713	6,696	7,308	7,752	7,447

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

		H27	H28	H29	H30	R1
一般財源投入額(千円) ①		6,713	6,696	7,308	7,752	7,447
	職員費を除いた額(千円)①'	3,056	3,069	3,172	3,557	3,215
利用者数(人) ②		6,178	6,259	6,523	6,826	8,055
利用者1人あたりの一般財源投入額(円) ①÷②		1,087	1,070	1,120	1,136	925
	職員費を除いた額(円) ①' ÷ ②	495	490	486	521	399